



隅田の上空にサルムソン機を飛して……

七月の空から驚くべき人間の業を見る。油のように淀んではゆるく流れる水、それに架せられた橋、橋、橋。まばゆく反射する混泥土の道路、波、何か小さい動物の様な感じの電車、そして微生物のような人間。蟻の生活など驚かなくともよろしい。この恐るべき人間の業よ！

寫眞、隅田川の下から上流に向つて、復興橋梁の最後を飾つた兩國橋、今假橋の撤去工事中、その次のアーチ橋が前月開通の省線隅田川橋梁、次が藏前橋、麩橋、駒形橋、吾妻橋、そして東武鐵道橋梁、音問橋の順である。上流の白鬚橋も原板にはでゝあるが、寫眞版に現せないのが残念だ。右下端のドームが國技館。その上方の兩國驛等は今更説明を要すまい。兩國驛上方の小さい丸屋根が安田邸跡の本所公會堂、その隣りが相愛病院、これは大震災當時米國からの寄附金で建つた。その右手が震災記念堂。對岸に渡つて專賣局、隣りに白く見えるは藏前高校跡の空地下つて兩國橋の左上が有名なる柳橋。淺草の觀音さまは説明なしでも見出し得よう。